

文理大医療系学部新設へ

専門学校取り入れ、他学部と連携

進路の幅拡大期待

23年4月構想

日本文理大(大分市)は5日、4年制の「保健医療学部」(仮称)を新設する構想を明らかにした。既存の医療専門学校(3年制)を大学の学部として取り入れる形を想定している。手続きが順調に進めば、新設は2023年4月になる見通し。医療機器の高度化や新型コロナウイルス禍などで地域医療の需要が高まる中、医療以外の分野にも接し、さまざまな職種で活躍できる人材の育成を目指す。



医療系の学部を新設する構想を明らかにした日本文理大＝5日、大分市一木

日本文理大は1995年、診療放射線技師を養成

する「NBUメディカルカレッジ」を市内大手町に開校。2004年に同大隣接地に移り、医療専門学校として再スタート。翌年、臨床検査技師、臨床工学技士両コースを加えた。

新学部は保健医療学科の単科で、専門学校と同じ医療系資格の取得を目指すコースを設ける。学部棟は同大キャンパス内に建設し、既存の経営経済学部、工学部と連携したカリキュラムをつくる計画。大学事務本部によると、これまでの専門学校は資格取得が最終目的で、就職先は医療機関が主だった。学部にも触れられるようにし、マネジメントやものづ



くりの感覚を磨いてもらう。医療機器メーカーや研究所、大学院など、進路の幅の広がりを期待する。橋本堅次郎学長(69)は「4年制にすることで、資格取得に加えて多様な知識と教養を身に付けることができる。」



橋本堅次郎学長 や産業に貢献していきたい」と話している。各コースの定員は▽診療放射線学 80人▽臨床検査学 50人▽臨床工学 30人。の計160人を予定。既存の専門学校は24年度末に閉校する。

(三井祥聖)